

和泉市久保惣記念美術館運営ビジョン（案）パブリックコメント 募集結果

- 1 意見等募集期間：令和6年12月28日から令和7年1月21日
- 2 意見等提出者数：個人5名
- 3 意見等提出件数：5件
- 4 ご意見・ご提案の概要及び市の考え方（類似の意見があった場合は類似する意見を集約しています）

コメント 者NO	頁	章 (条)	節 (項)	タイトル	ご意見・ご提案の概要	市の考え方
1	31	3章	3 (4)	31 ページ伝えたい人に「伝える」広報・発信	和泉市に住んで15年程ですが、近くに久保惣記念美術館がある事も理由の一つです。当時は美術館の他にあまり何もありませんでしたが、最近ではらぼーとやコストコ、物流倉庫等、賑やかになっています。インバウンドを取り込む事も重要ですが、近くの商業施設に来ている人を取り込むアイデアがあればと思います。美術館だけでなく、日本庭園や茶室、コンサートホールもあり大好きな施設なので、この先も地域に愛される施設であって欲しいと願っています。	周辺には、商業施設、宿泊施設、桃山学院大学もあることから、相互に連携を深めることで、今後とも地域に愛される美術館になるよう努めてまいります。
2	34	3章	(7) ⑤	美術館の運営について	リニューアルするなら、ゆるキャラを作ったり、グッズ販売、カフェ増設など、見るだけではない楽しみがあるほうが良いと思います。	リニューアルの際には、飲食スペースの検討も踏まえ、費用対効果を踏まえた多様な検討を行い、来館者の満足度が向上できるよう取り組んでまいります。

3	35	4章	1	35 ページインバウンド戦略について	和泉中央駅と関空とを結節するリムジンバスの発着時刻と美術館前を通る路線バスの和泉中央駅発着時刻を調整して貫うように南海バスに申し入れるなどして限られたダイヤでも最大の効果を発揮するように協議すべき。また和泉中央駅に適切な数のロッカーを配置しミュージアムタウンへは身軽で来場できるように工夫すべき。展示品の付近にQRコードを設置しスマートフォンで読み込むと多言語で作品の解説が得られるようにすべき。	他の事業者様への働きかけのみならず、リニューアルの際には館内ロッカーの増設、デジタル技術を活用した展示解説の多言語化など、費用対効果を踏まえた多様な検討を行い、来館者の満足度が向上できるよう取り組んでまいります。
4	—	—	—	資料を読んで。また何回か来館しての感想です。	<ul style="list-style-type: none"> ・前あったカフェを再開してほしい。 ・前に来館した時、来たはいいが帰りのバスがなくて困っておられる方がたくさんいた。 ・耳で聴く案内があればいいのにといつも思います ・看板の上に立っているネコ、あのネコは本当にステキなのであのネコのグッズを発売してほしいです。 	リニューアルの際には、飲食スペースの検討を行います。音声ガイドの導入やミュージアムグッズの充実など、費用対効果を踏まえた多様な検討を行い、来館者の満足度が向上できるよう取り組んでまいります。
5	—	—	—	久保惣記念美術館の運営について	残念に感じるのは、【KUBOSO】との赤い看板？オブジェ？です。事故で破損した後に改めて設置されたと思いますが、建物外観や展示物には似つかわしくなくアンバランスだと感じます。アートや芸術としては理解が難しいです。デザインや表示に何か意味や狙いがあるのであれば、市民に広報していただけたらと思います。	久保惣記念美術館をイメージさせる古美術の世界と現代美術としてのアートサインを融合させたパブリックアートとして、平成30年3月に設置し、広報いずみ5月号において特集ページにて、広報いたしました。なお、KUBOSOの赤い英文字の上に立つネコは、収蔵品である歌川国

						芳の浮世絵版画「荷宝蔵壁のむだ書（黄腰壁）」に描かれているもので、「大でき猫」と呼ばれ、愛されています。“大でき”とは「とても良い」「上出来」という意味です。
--	--	--	--	--	--	---